

令和4年度の教育活動等に対する学校評価書

令和5年3月10日

学校法人さなる学園さなる幼稚園

園長 今井 寛

学校法人さなる学園さなる幼稚園学校関係者評価委員会 監事 宮野 博香

1 幼稚園の教育目標

素直で明るくたくましい子どもを育てる

2 本年度の重点目標

・自分の思いを出しながら幼稚園生活を楽しむ ・友だちとの関わりを大事にしながら自分の思いを出すことができる ・集団で1つの目標を目指すことができる

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	幼稚園としての反省と改善点	評価点	評価・意見
教育内容	保育の計画	B	幼稚園教育要領の理解と保育現場での実施をより深めた内容を検討していく必要がある。	B	普遍的部分と社会情勢に合わせた改善箇所を踏まえた再検討を要すると考える。
	教職員体制の充実	B	職員個々の仕事の量と質に関しより計画性をもって行う必要がある。	B	より健全な職務体制を整備することが望まれる。
	教育環境の構成	A	施設設備・遊具の定期点検や必要に応じた新規導入、修繕等は概ね実施できた。	A	引き続き同様の努力実施を期待する。
	研修や研究	A	外部委託の講師による園内研修やハンドブックの活用等、資質向上に充てた活動が実施できた。	A	今後も実りある研修活動を展開し職員の資質向上を図って頂きたい。

安全管理	侵入者・来訪者への安全対策	B	適宜施錠や監視カメラの活用を行っているが、更なる配慮が必要である。	B	保護者の視点でのアイデアや工夫を提案していきたい。
	施設・設備に対する安全対策	A	前項「教育環境の構成」に同じ	A	前項「教育環境の構成」に同じ
	衛生に対する安全管理	B	コロナ禍緩和状況に対しても、近況把握や保健所等の指導事項を踏まえ、衛生管理の維持徹底を図る。	B	保護者への呼びかけなど、各家庭での意識づけや協力体制も必要であると考えられる。
	園児に対する安全管理	B	室内外での活動に伴う園児の怪我也も少なくないため、更なる指導の徹底が必要とされる。	B	成長過程での偶発的な怪我もあるが、保育活動や友達との関わりに支障なきよう今後も指導されたい。
	通園に関する安全管理	A	牧之原市 園児送迎バス事故及び現地監査の結果を踏まえながら、引き続き安全管理の徹底に努める。	A	現行の職員による日々直接的且つ情報共有できる体制を継続しつつ、職員配置が困難な中、更なる安全管理の維持向上に努めて頂きたい。
人事管理	教育目標のための人事・採用	B	資質能力を有する新卒者やキャリア採用充実のため、今後も養成校・ハローワークとの連携を図る。	A	就労者減少という難局を踏まえつつも、安定恒常的な職員配置を目指し、今後も努力されたい。
	募集・採用の適切な実施	B	次年度の退職希望者の適時適切な把握と、それに伴う募集・採用を実施する必要がある。	B	前項「教育目標のための人事・採用」に同じ
	雇用条件の理解	B	内定者へのガイダンスを実施し更なる雇用条件の周知徹底に努める必要がある。	B	以後も周知徹底を図るよう、努力されたい。
	労務管理	B	労務士指導に基づく労務管理の見直しを図っていく必要がある。	B	時局に照らし合わせた労務管理を今後も図って頂きたい。

	健康管理	B	健康診断だけでなく、必要に応じてカウンセリングを実施する等、心身伴うケアに努めたい。	B	左記のとおり努力をされたい。
	コミュニケーション	B	クラス、学年間での意思疎通を密にし、園長以下職員全体での周知徹底を図ったが、充分ではない。	B	職員間のコミュニケーションをより密なものとし、健全な職務体制や人間関係を構築して頂きたい。
	資質の向上	B	県下で多発した施設乳幼児虐待の事件を踏まえ、職員の保育実施時の態度や言動に対し、個々の自己啓発を再度促し、保護者との連絡も継続的明瞭的に行い、信頼を損なうことのないよう努めていく。	A	左記の痛ましい件を是非教訓とし、信用信頼のある幼稚園を今後も構築して頂きたい。
財務管理	予算策定の基準	A	事業計画に基づき、理事長、園長、事務担当者の供覧総意のもと健全な予算の策定が実施できた。	A	今後も同様に努力されたい。
	必要な予算の改定	A	上記同様、問題なく実施できた。	A	今後も同様に努力されたい。
	決算内容の把握	A	事業報告に沿った決算処理が実施され、上記3者による管理把握ができています。	A	今後も同様に努力されたい。
	決算の公開	A	監査報告に基づく決算の公開が掲示板、園ホームページにて適時適切に実施された。	A	公開の必要性に関し、特に関係外部に対しては些か疑問に感じる所もあるが、今後も適切に実施されたい。
	適切な納付金額の設定	B	適切な設定であると考えているが、保護者個々の捉え方も一様でなく思案の絶えぬ案件である。	A	事前説明、提示に基づく納付金額であり、著しい財務管理上の支障もなく、適切な設定であると考えている。
	適切な物品購入	B	計画的な購入が難しい物品もあり、十分な検討を経ないケースもあったが、概ね適切に実施できた。	A	今後も同様に努力されたい。

※ 評価結果基準

A	十分に成果があった
B	成果があった
C	少し成果があった
D	成果がなかった

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
<p>牧之原市の子ども園通園バス事故及び県下幼保子園での職員による幼児虐待嫌疑事件の多発等、当該地区での教育保育環境における不祥事が相次いで起こり、当園でも教職員全体でこれを重く受け止め、一人一人が保育の資質向上、環境の安全管理徹底に意識を高め、保護者や地域の信頼回復を得ることが急務課題であると考えます。</p> <p>一方で、コロナ禍の一定程度の状況回復を見通しながら、近況の把握をつぶさに取り、ここ数年来縮小してきた園の保育行事等を適切に実施しなければならない。</p> <p>また教職員の服務状況を管理把握し、新年度に向けて適切な配置を実施しなければならない。</p>	<p>一連の県下幼保子園における乳幼児を巻き込む不祥事、事件、事故を重く受け止め、教職員や保育環境の資質向上、安全管理を間断なく実施遂行し、学校区内外の情報や所管課の指導を仰ぎながら、保護者や地域の信頼回復に努めていく。</p> <p>行政によるコロナ禍の緩和措置が予定されているが、新年度始業時期や季節の変わり目など、環境変化の節目の折には、園児は無論、教職員にも健康管理には十分注意をし、保育環境の衛生管理徹底を図っていく。</p>